

議長抱負 すいもんよしあき 水門義昭



5月11日開催の第4回臨時会にて歴史と伝統のある高山市議会議長を拝命いたしました。平成28年度に次いで議長は2回目となりますが、前回同様に責任の重さを強く感じております。

前回の議長就任時にも抱負を述べさせていただきましたが、私の願いは高山の街で生まれ育ったり、移り住んで育った皆さんが、この街で生活していることに誇りを持ち、街や人を愛し、生涯に亘って安全安心に暮らせるという、住み心地No.1の高山にすることです。次の世代を担ってくれる子ども達に、この高山の街の伝統と文化によって心も体も健やかに、豊かに育むことが出来ること。そして「みんなに夢を」「みんなの夢を」を大事にしたいと思っています。この街はみんなの力でずっと繁栄することが出来る、そんな街なのです。先人が遺してくださった大切な祭り文化をはじめ、まち全体が家族のような心の通った高山の文化は世界に誇れるものだと感じております。「高山っていい街ですね」と街並みも文化も人情も今以上に誇れる街にしたいです。

さて、誰もが経験したことのない新型コロナウイルス感染症により、私たちの生活は大きく変わりました。市民の皆様におかれましては感染防止対策や傷んだ経済回復対策に苦しんでいらっしゃるだけ早く先が見える日が来ることを願うばかりであります。そういった社会環境の中で市政運営において二代表制の一翼を担う議会の責務を強く感じています。広大な市域におけるまちづくりの責任ある意思決定機関として議会運営を進めてまいります。どうか今後とも高山市議会へのご支援をお願い申し上げます。

副議長抱負 たにむらしょうじ 谷村昭次



令和4年度の高山市議会、副議長に選出をしていただきました、谷村昭次です。市議会は「議決機関」わかりやすい表現としては「市民意思決定機関」です。行政機関の提案権と執行権は、議会の意思決定がなければ実行できません。

議会が「良き決断」を行うために必要な「市民の声」は議員にゆだねられる様々な背景とともに、正確で充実した情報のどこに支えられるべきであるのかを、常々吟味しなければならぬと考えています。

「車の両輪」として行政と同じ回転数で加速し、市民の暮らしの向上に邁進する議員像に期待される方々もありますが、その一方では多様な市民が行政関係者への駆動、つまり、それぞれの方向へと動きを与えることに期待をして接近する中で、真に必要とされることは、議会、議員はどの程度のギアを掛けるのかを選別する役割を負う重要度、つまり「アクセルとエンジン・ブレーキ」へと力を注ぎたいと考えています。

この抱負のヒントは私が頼りどころとする、ある行政学者の著書から引用させていただきました。

さらに、「聴く」の語源には、深く聞き重ねる、聞き返すという深い意味が込められていると説明される様に、一度聞いた市民意見の真意や本音を十分に聞き直すことができる議会のしくみについても、新たな具現化を図っていきたいと思います。

5月臨時会所信表明会

高山市議会では、市民に開かれた議会を目指すため、正副議長に立候補しようとする者は、議会運営における自らの考え、市民の福祉の増進を図る取組、議会の抱える課題の解決に向けた取組方針などを全議員に示す所信表明会を行っています。今回は、議長候補の水門義昭議員、副議長候補の谷村昭次議員が所信表明しました。この様子はCATV、インターネットで生中継されました。議会では、正副議長候補者が自らの考えを議員に示すだけでなく、中継等を通じて広く市民の皆様にお示しすることで、より議会に関心を持っていただき、議会活動をご理解いただく機会の一つと捉えています。

市議会ホームページ
映像中継から
所信表明会へ

